

シンポジウム 19 企画概要

タイトル	がん在宅の未来 ～地域で支えるためにできること～
------	--------------------------

テーマ

がん患者の希望する療養場所を整備するために個人、組織、地域ができること

概要

2025年には30%以上の方が65歳以上になると言われている日本において、がんを患いながら生活する方、そして、その方を支える家族、友人の方々が今後も増えて続けていくことが予想されます。全国の4地域を対象とした調査では、がん患者の希望する療養場所として40-50%の方が「自宅」を希望されている一方で、在宅療養の懸念としては、「家族への負担が大きい」「急な変化があった時や夜間に、対応できない」が70%以上と最も多いことが分かり、がん患者の希望する療養場所を整備するためには、全国的な在宅医療の推進に加えて、緩和ケア病棟や施設などを利用しやすくすること、そして、介護リソースの拡充、自宅での病状変化に対応できるサポート体制の確立が必要と考えられている。本シンポジウムでは、がん患者の在宅療養を推進するために、病院や地域で行っている先進的な取り組みを紹介して頂き、日本各地で今後取り組むべき課題と解決策の共有を行っていく。